

本コラムのネタ探しに年始のニュースを眺めていたところ「2024年は1898年の統計開始以降、最も暑かった」  
との報道



(814)

## 100年に一度

よく聞くよな」。

「100年に一度の未曾有」の「読み」を間違った国会議員も思い出したが、それはさておき。自分が金融機関に勤めた

年初の都市銀行破綻、2008年リーマン・ショック、2011年東日本大震災、2020年コロナパンデミック、2024年能登半島地震、等々。

生するなら「100年に一度は稀な出来事ではない」と考え直した方が良いのでは。

しかも今年はアメリカの大統領が交代。本コラム執筆中にも物議をかもし大統領令を乱発。世界は予測不能の混乱が始まった感があります。

が目に残りまし

た。「100年を超える観測史上初なら、去年の夏はそりゃ暑かったはずやわ」。

後も100年には多々あった事に改めて気付きました。

思い返すだけでも：

ここぞ、「んっ。100年に一度って、最近

…1991年のバブル崩壊、1995年阪神淡路大震災、1997

先の国会議員の発言は、リーマン・ショックの際に「100年に一度級の経済混乱ややらしゃあないやろ」という、言い訳文脈で使われたと記憶しています。しかしこれだけ発

生するなら「100年に一度は稀な出来事ではない」と考え直した方が良いのでは。

(大國主)